

めぐみ

2025年  
10月号

学校法人 聖公会北関東学園  
認定こども園  
初雁幼稚園  
〒350-0057 川越市大手町 8-5  
Tel 222-5385 Fax 228-5010

## 「人生楽しみな！」

保育部担当 小島亜希子

この言葉は、娘（次女）からかけられる言葉です。人生の半分以上を母として生きてきた自分にとって、自分自身のことより子どもや家族のことを優先するのが当たり前となっていました。去年の11月に籍を入れた次女。パートナーの海外赴任が決まり、今年からわが家に戻ってきました。彼女の仕事の関係で今年度は退職できないというのが理由でした。数年ぶりの娘との生活が始まりました。洗濯をすれば「ありがとう！」という言葉。駅まで送迎すれば「26歳の大人なのに申し訳ないね」と。当たり前と思っていた行動に感謝されるようになりました。そうして生活していくうちに、休みが重なると「予定は」と聞かれ、何もないときは、「どこ行く？」「これ、行きたかったイベント一緒に行かない？」とお誘いを受けることもしばしば。自分一人では行かなかっただろう〇〇展にも足を運べました。知らない世界を知るという点で、一番衝撃だったのは「押し活」でした。

夜勤明けや休みの日はお昼まで寝ているのがマストな彼女が、早朝から会場に出かけていき、多くのグッズを買い、見知らぬ人とそれぞれの推しの写真やグッズを交換するために時間を費やしていました。好きなことには時間を惜しまない精神を実感できた瞬間でした。そんな次女からの「この日はせっかく連休なのだから、どこか出かけてきたらいいのに」という一言から、初めての一人旅の計画を企てました。行き先は「金沢」に決め、ホテルも予約し、新幹線のチケットは仕事帰りに買ってきてくれるという娘に甘え、ドキドキワクワクな旅が始まりました。北陸新幹線に乗り、子どもたちが訪れたことのある金沢駅に着き、木造モニュメントに心が躍り、おすすめのお店でランチ。場所がわからないから、とりあえずバスで移動し景色をインプット。時間に追われることもなく、気の向くままに過ごせた一泊二日の旅となりました。「一人でも旅行を楽しめる」ということを体感でき、「また近いうちにどこかに行こうかな」というのが密かな楽しみになっています。

「家族みんなもう大人なのだから、大丈夫！人生楽しんだほうがいいよ！」という言葉を日々胸に刻みながら、「一日、一日を大切に送れたらな」と思っています。

# 今月の保育目標と予定

## ☆保育目標☆

今月のテーマ  
「いっしょにね」

### 今月のねがい

- さまざまな方法に挑戦し、失敗を重ねながら過ごす
- 友だちという楽しさを重ねていく
- 神様のくださっている力を出し合い、ともに過ごす

### 学年別のねがい

- (1歳) 友だちの存在を感じ、いろいろなことをしてみようとする
- (2・満3歳) 周りの友だちに目を向ける
- (年少組) 周りの友だちに目を向けて取り組む
- (年中組) 友だちと力を合わせる
- (年長組) お互いの思いや存在を大切にする

### ひとこと

秋晴れの日気持ちの良い風が吹く、爽やかな季節になってきました。歩くのが楽しくなってきたつくし組の小さな友だちは、元気に公園へ出掛けていきます。一番大きなすみれ組のお兄さんお姉さんたちは、無限リレーに汗を流しています。運動会ごっこを楽しみながら友だちと力を合わせることの楽しさを重ねていってほしいと思います。失敗や悔しい思いも成長のための大事な経験。友だちといっしょに神さまがくださった力を出し合ってチャレンジする10月となりますように。

### 今月の聖歌

「神さまがわかるでしょ」

## ★予定★

| 日  | 曜 | 行事などの予定                            |
|----|---|------------------------------------|
| 1  | 水 |                                    |
| 2  | 木 |                                    |
| 3  | 金 | 全体礼拝                               |
| 4  | 土 | 開園記念日 就労家庭保育実施日                    |
| 5  | 日 |                                    |
| 6  | 月 |                                    |
| 7  | 火 |                                    |
| 8  | 水 |                                    |
| 9  | 木 | アルミ缶回収                             |
| 10 | 金 | 全体礼拝 ↓                             |
| 11 | 土 | 運動会(予備日13日)<br>就労家庭保育実施日(保育部)      |
| 12 | 日 | エアコン分解掃除                           |
| 13 | 月 | スポーツの日                             |
| 14 | 火 | 振替休園 就労家庭保育実施日                     |
| 15 | 水 | 入園説明会(もも組参加)                       |
| 16 | 木 | 幼児部パパママ先生週間(～22日)<br>「はつかりホッとカフェ」⑤ |
| 17 | 金 | 全体礼拝                               |
| 18 | 土 | 「あそぼうよ」④ 就労家庭保育実施日<br>川越まつり        |
| 19 | 日 | ↓                                  |
| 20 | 月 |                                    |
| 21 | 火 | おはなしのかい                            |
| 22 | 水 |                                    |
| 23 | 木 | 年長園外保育(予備日10/30)                   |
| 24 | 金 | 全体礼拝                               |
| 25 | 土 | 就労家庭保育実施日                          |
| 26 | 日 | 秋の教会バザー                            |
| 27 | 月 | 連絡係打合せ・保健安全委員会                     |
| 28 | 火 |                                    |
| 29 | 水 | 10月誕生会                             |
| 30 | 木 |                                    |
| 31 | 金 | 全体礼拝                               |



# チャプレンのページ

## 十二使徒

「十二人を任命し、使徒と名付けられた」

(マルコによる福音書第3章13節)



イエス様には12人の弟子がいたことが知られており、これらの人たちを十二使徒と呼んでいます。聖書に書かれている通り彼らの役割は、彼らを自分のそばに置くため、また、派遣して宣教させ、悪霊を追い出す権能を持たせるためでした。

12人は、ペトロ（シモン）、アンデレ、ゼベダイの子ヤコブとヤコブの弟ヨハネ、ペトロの弟のアンデレ、フィリポ、バルトロマイ、マタイ、トマス、アルファイの子ヤコブ、タダイ、熱心党のシモン、そしてイエス様が十字架につくことになった際に裏切ったイスカリオテのユダです。

このうち、ペトロ、ゼベダイの子ヤコブとその弟のヨハネ（ヨハネによる福音書の記者とされています）、この三人はイエス様から特に重んじられた人たちで、重要な場面や心理が示される時、イエス様はこの三人だけを連れて行くのが常でした。

フィリポとバルトロマイは親友だったと考えられており、イエス様が宣教活動の拠点としたカファルナウムにほど近い、ベトサイダの出身でした。

マタイは将来マタイによる福音書を記すことになる人で、もともとは徴税人でした。ユダヤ人でありながらローマの手先になっているということで人々に嫌われている中、イエス様の弟子となって活躍しました。

トマスは弟子の中で人一倍の情熱家、イエス様の復活をなかなか信じられなかったことがあったものの、弟子の中で最も遠く、インドにまでイエス様のことを伝えに行き、殉教したと伝えられています。

アルファイの子ヤコブはゼベダイの子ヤコブと区別するためこのように呼ばれ、ゼベダイの子ヤコブを大ヤコブ、アルファイの子ヤコブを小ヤコブと呼ぶこともあります。

タダイはユダという別名を持っていますが、イスカリオテのユダと区別するため、通常タダイが用いられます。

熱心党のシモンの熱心党とは、主にユダヤの国の北部、ガリラヤ地方を中心に活動したグループで、ユダヤの人々のためならどんなことでも実力行使をしたユダヤ教の一派でした。ところがその活動がとても過激でしたので、熱心党という名前がつけられていました。今日で言えば、ゲリラ組織といったところでしょうか。この熱心党のシモンも、新約聖書の中で名前以上のことがほとんど書かれていない人物になります。

この中で最も早くイエス様の弟子となったのは、ペトロ、アンデレ、ゼベダイの子ヤコブとヨハネで、彼らはいずれもガリラヤ湖の漁師でした。漁師は当時字の読み書きもできなかったと考えられていますが、彼らは決して謙遜を忘れない人たちでした。イエス様がそのことを最も重要として十二使徒を選ばれたのは、私たちの世界でも多くの示唆を与えることではないかと思います。

これから成長し、社会の役割を担っていく子どもたちに、理解してもらいたい十二使徒の姿です。

(チャプレン 鈴木 伸明)

# クラス の 窓



## つくし組

いた！いた！



この前、初雁公園の砂場に草が生えている近くで遊んでいた子が「せんせー、テンテンいた」と教えてくれました。その声を聞いてみんなが「どれどれ、どこだー！」と言わんばかりにてんとう虫の近くへ。保育者がてんとう虫を見やすいように手のひらにのせてあげ、色や形など説明すると更にどんどん近づいて来て（距離にして15cmほど）「テンテンいたね」と嬉しそうに触ってみる子や「テンテン、こわい」と眉毛がハの字になりつつも見たい気持ちはあるので、他の子よりも少し離れて見みたりとさまざまな姿、表情が見られました。その後は、砂場遊びよりも虫探し。「（い）た！」と言って大人では気づかないほどの胡麻くらの黒い虫を発見したり、他の草に潜んでいたてんとう

虫を見つけあらゆる角度から観察する子やそれを触ろうとする子。帰り道はアゲハ蝶や赤とんぼなども見つけながら園に戻りました。以前は虫がいたら潰してしまったり、見せたりすると怖いから後退りすることもあったのですが、徐々に虫に慣れ興味関心を持ち始めてきました。これからたくさんの虫や生き物に出会う時期になります。ゆっくりと一人一人のペースに合わせて親しんでいきたいです！

## もも組

ともだちを想って…



もも組では、朝の会でお祈りを唱える機会が増えました。全員で顔を合わせて、保育者が神様にお祈りを捧げる姿を子どもたちに見てもらい、できる子は心を穏やかにして一緒に手を組んでくれます。「神様ってなに」「ん、お祈り？」と不思議な気持ちで参加している子どもがほとんどかと思いますが、神様に見守られて楽しく過

ごせていることことを、毎日の積み重ねで少しずつ知ってもらえたらなと思っています。

お祈り時にその日のお休みの友だちについて触れるのですが、もも組の子はまず「どうしてお休みなの」と保育者に問います。「熱が出ちゃったみたい」「お出かけかな」と伝えと、「じゃあ病院でチクンするよね」「お菓子買うのかな」などみんなでお休みの子のことを考える時間が流れます。子ども側から「遊びたかったな」「明日は来るかな」という気持ちが飛交う姿をみていると、「2歳児クラスではあっても仲間意識が芽生え、お休みの子のことも考えられる思いやりにあふれた子どもたちでいっぱいなのだな」とほっこりしました。

## ちゅうりっぷ組

### 運動会はふわちゃんともこちゃんも登場

夏休みを終えて、ひと回り成長した姿を見せてくれる子どもたち。2学期から金曜日は教会まで歩いていくことになりました。手をつないでくれるペアのお兄さん、お姉さんが靴をしまうこと、献金をお皿に出すことなど、手取り足取り教えてくれ、初めての教会もじょうずにお祈りしてくることができました。

クラスでの集団遊びも、順番を守って楽しめるようになってきました。玉を器に運ぶゲームをしたり、みんなでダンスを踊ったり。そこで、今度運動会があることも伝えました。お家の人が応援に来てくれることを知ると、大喜びの子どもたち。クラスの競技はうさぎに餌をあげるものにしました。1学期、幼稚園で涙が出る時は、よくうさぎのふわちゃんともこちゃんに餌をあげにっていました。うさぎ小屋の外から野菜をあげ、ふわちゃんともこちゃんが食べてくれると涙も止まり、笑顔になっていった子どもたち。運動会では、そんなふわちゃんともこちゃんににんじんを食べさせてあげる競技を行います。早速、自分のにんじんも作りました。9月後半から満3歳児入園のピンクちゅうりっぷ組の友だちがまた一人加わり、4人になります。ピンクちゅうりっぷ組ならではの活動も大事にしながら、2学期も楽しんでいこうと思います。

## たんぽぽ組

### 忍者からの手紙



先日、子どもたちと折り紙で手裏剣を作って遊んでいると、「ぼくの方が遠くに飛ばせるよ!」「私もやってみたい」と盛り上がりました。そんな中、クラスに忍者からの巻き物の手紙が届きました。手紙には「お腹を空かせた忍者に食べ物を届けてほしい」とのミッションが!それは大変だとみんなで話し合いをしました。「なにがいいかな」「バナナ!」「エビフライ」「だんごも!」と元気いっぱい意見を出し合い、3つの食べ物を多数決で選びました。

その食べ物を作り、二人一組で力を合わせて忍者に届けることが、運動会の競技につながります。今はお届けする食べ物を協力して作って楽しんでいます。運ぶのもコツがあるので、これからペアの子と協力して運ぶ練習もしていきます。どちらかが急いでもうまいきません。相手を思いやり、力を合わせる。当日どんな姿を見せてくれるのかな。力を合わせて食べ物を運ぶ子どもたちの姿を、どうぞ温かく見守って応援してあげてください。

## すみれ組

### 今年の応援合戦は…ヤングマンに決定!

去年の応援合戦は、現在育休中の大野梨紗先生の提案により5分で決定しましたが、今年私が考える番でした。今年の子は元気いっぱいみんなと楽しいことをするのが好き。そして「子どもたちも見ている人も楽しくなる曲はなんだろう」とテレビをつけると、ちょうどやっていた番組は「3秒聞けば誰でも分かる昭和名曲ベスト100」。ヤングマンが流れ出すとテレビの人みんなが踊り出すのを見て「これだ!!!!」とすぐに美由紀先生に連絡しました。「令和生まれの子どもたちは楽しめるだろうか」と考えながら次の日幼稚園へ。すると、「せんせい、

ワイ・エムの曲しってる？昨日お祭りで流れてたんだー」とMちゃんから言われびっくり。ナイスお祭り！ナイスMちゃん!!令和の子にもヤングマンはヒットしている!!

後は振り付けだけです。しかし宝塚歌劇を見て育った私は、「ラインダンスにさせたい」「手に何か持ちたい」「ミラーボール回したい」…などばかりが頭にあり、「あーだこーだ」と考え、運動会は外なのでミラーボールは諦め、子どもらしく、楽しく、元気いっぱいに仕上げました。女の子はかわいくノリノリに、男の子は力強くキメキメ。スクールメイツに負けないぐらい元気に練習を頑張っています。今回は参加型の応援合戦なので、運動会では保護者の掛け声もお願いします！すみれ組のヤングマンたちが踊ります。

# わが家のまど

## (352) はまったジェルネイル

保育部担当 久保田沙樹



わが家の窓に何か書けるのか考えた結果、特に大したことはないのですが趣味？について書いてみようと思います。

熱しやすく冷めやすい性格なので今までにデコパージュ、レジンクラフト、スイーツデコ、ハーバリウム、切り絵(これは現在進行形ですが)ジェルネイルなどいろいろやってきました。コロナ禍前にはまったジェルネイルは、後輩がネイリストになるために勉強していた時に爪を貸していた？ことがきっかけで自分もジェルでセルフネイルをするように。とりあえず形から入るタイプなのでLEDランプやいろいろなパーツ、ジェルを購入。ジェルネイルの初心者講習に出てみたり、ネイルエキスポに行ってみたり。

自分がするだけでなくプロの方の施術するところを見るのはとても参考になりました。セルフネイルの人も一日中楽しめるのでネイルエキスポおすすめ♪このころはずっとYouTubeでネイルの動画を見ていました(笑)妹や妹の幼馴染、友人の手を借りてせっせと練習させてもらい、ありがたいことに妹と友人、いどこに結婚式でネイルをしてほしいと言われて、「私でいいのか〜💧素人も素人なのでラインはガタガタだし、表面は均一に塗れていないし、一生に一度の思い出がこれか!？」と思いつつ、いい経験をさせてもらいました。すっかり遠のいてしまった趣味ですが、最近またできたらなーと思っています！



# 今月の聖書のおはなし



## ☆10月3日「フランシス物語」

初雁幼稚園の開園記念日、10月4日は「聖フランシス」の記念日でもあります。この日は神さまの創られたものすべてと友だちになることのできた聖フランシスのお話を聞きます。

## ☆10月10日「モーセ物語Ⅰ モーセの誕生」

### 出エジプト記1章1～2章25

エジプトの国中に増え広がったイスラエル人を脅威に思ったエジプト王はイスラエル人を奴隷として働かせ、生まれた男子は殺すように命じます。その頃、あるイスラエル人の家にモーセが生まれます。母親はモーセを籠に入れてナイル川の葦の茂みに隠します。そこへ水浴びにきたエジプトの王女にモーセは拾われ養子となって成長します。ある日、モーセはエジプト人に殴られている同胞のイスラエル人を目にし、そのエジプト人を殺し逃げ出しました。

## ☆10月17日「モーセ物語Ⅱ 十の災い」

### 出エジプト記3章1～11章10

モーセがエジプトを逃げ出してから何十年もたちました。ある日、モーセは燃える柴の中から神様の声を聞きます。それは苦役にあえぐイスラエル人をエジプトから導き出すというものでした。神さまは口下手なモーセの助け手として兄のアロンを伴わせます。二人はエジプト王にイスラエル人の解放を求めますが聞き入れられません。そこで神さまは次々とエジプトに災いを下します。ナイル川の水が血となり、蛙、ぶよ、あぶ、家畜の病気、腫物、雹、いなご、暗闇と9つの災いが起こります。王はその度に解放を許可しますが、災いが過ぎるとすぐに約束を翻してしまいます。そこで、神さまは最後の災いを下すことにしました。それはエジプト人の家で最初に生まれた子どもはすべて死ぬというものでした。

## ☆10月24日「モーセ物語Ⅲ 過越とエジプト脱出」

### 出エジプト記12章1～14章31

とうとう最後の災いがエジプトを襲います。国中のすべての初子が死にますが、子羊の血を門に塗ったイスラエル人の家は守られました。王はついに折れ、イスラエル人のエジプト脱出が始まります。神さまは、昼は雲の柱、夜は火の柱をもってイスラエルの民を導きました。ところが、海を前にしたイスラエル人の後ろにエジプト王の軍勢が迫ってきたのです。神さまは目の前の海を二つに分け、イスラエルの民を渡らせました。エジプトの軍勢も後に続きましたがイスラエル人が渡り終わった時、水が元に戻りエジプト軍は全滅します。こうして、イスラエルの民は神さまに導かれエジプトを脱出したのでした。

## ☆10月31日「サムソンとデリラ」

### 士師記16章1～31

神様に特別にささげられたナジル人である怪力サムソンはデリラという女の人を好きになりました。デリラはサムソンの敵と手を組み怪力の秘密を聞き出そうとします。「髪をすれば力を失う」という秘密が知られてしまうと、サムソンは力を奪われ盲目となり牢に入れられてしまいます。けれども、神が伸びてきたころ、祭りで見せものにされるために神殿に連れてこられたサムソンは神様に祈り、神殿の柱を折り倒し敵のペリシテ人をうち倒したのでした。